



# 打ち合い制し、 3試合ぶりの勝利！

同点に追いつき喜ぶ選手たち  
(撮影：織原祥平)

## 駒澤大学3-2早稲田大学

5月21日 14:00 味の素フィールド西が丘	
駒大 3 (1-2) 2 早大	
得点者 (アシスト)	
[駒]03分星 [駒]74分大村 [駒]78分吉岡 (中原)	[早]05分飯泉 (小林) [早]44分中山 (平澤)
<b>KOMAZAWA</b>	<b>WASEDA</b>
GK②角井栄太郎(2) DF⑳須藤皓生(2) (74分④小川礼太(1)) DF④宮坂 瑠(4) DF⑳星キョウファン(1) DF②熱川徳政(3) MF⑥種岡岐将(4) MF⑩吉岡雅和(4) MF⑰大村英哉(3) MF⑲安藤 翼(3) (43分⑳高田和弥(2)、 86分⑨大谷真史(4)) MF⑱中原 輝(2) FW⑳小口大司(3)	GK①後藤雅明(4) DF②新井純平(4) DF④飯泉涼太(3) DF③熊本雄太(3) DF⑤鈴木準弥(3) MF⑥平澤俊輔(4) (77分⑩鈴木裕也(3)) MF⑪小林大地(4) MF⑦相馬勇紀(2) MF⑧秋山陽介(3) (87分⑳石川大貴(3)) FW⑰岡田優希(2) (80分⑱柳沢拓弥(3)) FW⑨中山雄希(4)
<b>S U B</b>	<b>S U B</b>
GK②輪島稜(3) DF⑬竹澤昂樹(3) DF⑳伊勢 渉(2) MF⑱大場淳矢(2)	GK⑬岸浪卓志(4) DF⑳松岡拓都(3) MF⑱今来俊介(3) FW⑱直江健太郎(2)
<b>MANAGER</b> 秋田浩一	<b>MANAGER</b> 古賀 聡
[シュート]8:10 [GK]7:7 [CK] 9:5 [直接FK]6:18 [間接FK]1:1 [主審]阿部将茂 [観衆]657人	
警告(C) / 退場(S)	
[駒]90分+4 熱川徳政(c) [早]35分熊本雄太(c) [早]37分岡田優希(c)	
※データの左側が駒大 [早]85分鈴木準弥(c)	

### あきらめない気持ちが生んだ逆転劇！

前節から駒大はスタメンを大きく変更して試合に臨んだ。金、大谷などといった前節までの主力組を控え、フォワードに小口を置き、2列目を安藤、中原といった「運動量が多く、点を取れる選手を2人使った」(秋田監督)。さらに吉岡をポランチで起用し種岡とコンビを組ませるなど新たな試みも見られた。秋田監督の采配が試合開始直後、結果となって表れた。

まずは小口が中原とのパス交換で抜け出し、シュートを放つ。そして前半3分、コーナーキックから星の大学公式戦初のゴールが生まれ先制を挙げる。「高校からこぼれ球を押し込むことが多かったので、自分のところに来た時には“来たな”と思って思い切り蹴りこんだ」と星。大学サッカーの公式戦初ゴールはなじみある形での得点となった。ところがこれで相手の逆鱗に触れたのか直後に同点に追いつかれ、前半終了間際には追加点を献上してしまう。

エンドが変わった後半、「気持ちを切り替えてプレー」(星)を心掛けた駒大は、試合の流れを変えるこ

とに成功する。ボール保持が増え、敵陣のゴール前まで迫る時間帯が明らかに増えた。試合も終盤に入り、相手のスタミナが切れてきたところをついに試合は動いた。74分、小川のロングスローのこぼれ球を大村が押し込み同点に追いつく。「いいところにボールがこぼれてきたので、打つだけだった」とはにかむ大村。このゴールで勢いづく、78分には中原のクロスを吉岡が冷静にゴールに沈め、逆転。最後まで粘り強くプレーし続けた末の逆転劇を演じ、そのまま試合は終了した。

連敗を「2」で止めた駒大。「誰一人あきらめることなく」(種岡)プレーした結果だけにこの試合は大きな意味を持つ。秋田監督の言葉を借りると「徹底して駒大のサッカーをすれば勝てる」と証明できた。勝てないと選手は迷ってしまうので、続ければ勝つチャンスがあるということを感じてくれただけでも良かった。この逆転勝利により、リーグ戦も9位から7位ヘリカバリーし、上位陣に食らいつくことに成功した駒大。“強い駒大”再建に向け前期リーグ戦残り3試合を連勝で飾りたいところだ。(柴崎拓見)